

願寿苑より寄付金贈呈

6月27日(金)、サービス付き高齢者向け住宅「願寿苑(がじまる)」(真栄原在)が市役所を訪れ、市への寄付金15万円を佐喜眞市長へ贈呈しました。

願寿苑による寄付贈呈は、昨年に引き続き5回目。名嘉廣代表は、「市の福祉施設充実に役立ててほしい」と述べました。頂いた寄付金は市の福祉事業へ活用されます。



(有)沖縄クリーン工業より寄付金贈呈

6月27日(金)、(有)沖縄クリーン工業(前田勝也社長)が市役所を訪れ、市への寄付金を佐喜眞市長へ贈呈しました。

同社は、下水道や倉浜衛生施設で市の事業と深い関わりがあり、前田社長は「市のために役立ててもらいたい」と語りました。



子どもたちを深夜はいかい・飲酒から守ろう



7月18日(金)、「青少年の深夜はいかい防止」「未成年者飲酒防止」県民一斉行動宜野湾市民大会が中央公民館集会場にて開催されました。意見発表では、小学生、中学生、高校生および保護者の代表が体験をもとに健全な生活、家族の大切さ、非行防止についてを訴えました。

こみゆにてい 見聞録

地域のいろいろな話題を紹介します。

港ふれあいフェスティバル!



6月22日(日)、宜野湾港マリーナを会場に、「2014はごろもカップ港ふれあいフェスティバル」が開催されました。当日は好天に恵まれ、多くの来場者でにぎわいました。沖釣り大会は、午前7時に出港。大物を狙い腕を競いました。マリンレジャー体験では、バナナボートやシーカヤックと海を満喫。ステージイベントとして、第4回ウクレレビーチパーティーが開催されるなど、多くの出演者が登場し観客と一体になりました。じゃんけん大会では、優勝者が一般の部で10万円分旅行券、子どもの部で25,000円分の図書券を獲得し、会場は大いに盛り上がりました。



富岡政務官、「生曜学習会」を開催



7月12日(土)、富岡勉文部科学大臣政務官が宜野湾中学校を訪れ「土曜学習会」が開催されました。富岡政務官からは、土曜日授業の意義や、「再生医療について」をテーマとした講義が行われました。iPS細胞をはじめとした再生医療について、時折ユーモアを交えながら解説され、「再生医療の知識を正しく使えるように考え、人類が幸せになれるように技術を育てることが大切」というメッセージが伝えられました。

スクールサミット開催!



7月14日(月)、第17回宜野湾市中学生スクールサミットが中央公民館集会場において開催されました。市内4中学校の生徒会役員が、各学校の実践報告と発表を行ったのち、各校の討議課題についての討議、質疑応答を行いました。積極的な挙手が相次ぎ、とても活発な議論の場となりました。

若い力で地域に活力を!



6月26日(木)、宜野湾市青年連合会(池原啓太会長)の新役員が市役所を訪問しました。

本年度から市内の青年会すべてが加盟することになったことをうけ、池原会長は、宜野湾市青年エイサー祭りをはじめとする各種のイベントを重ねることで、地域の青年のコミュニティを一層強固にしていく旨の抱負を語りました。

「絆」芸能まつり



7月13日(日)、市身体障がい者福祉協会(伊佐雅仁理事長)による「第5回宜身協 絆 芸能まつり」が中央公民館集会場にて開催されました。協会のNPO法人移行5周年の節目の年であり、伊佐理事長は「自立した活動が今後も継続できるよう努力します」と述べました。

少年の主張



7月10日(木)、第24回宜野湾市「少年の主張大会」(主催:市青少年健全育成協議会)が中央公民館集会場において開催されました。市内4中学校代表の生徒が、日頃から考えていることや感じていることなどを自分の言葉で発表しました。最優秀賞に、「笑顔の理由」の演題で発表を行った真志喜中学校3年の坂倉百萌花さんが選ばれました。坂倉さんは9月に開催される中頭大会に、宜野湾市代表として参加します。

社会を明るくする運動



7月4日(金)、第64回「社会を明るくする運動」法務大臣等メッセージ伝達式が行われ、法務大臣より市長へ、県知事より議長へ、県教育長より市教育長へメッセージが伝達されました。すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちが非行をした少年たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。

JICAボランティアとして海外へ!



6月26日(木)、JICA(国際協力機構)ボランティアとして、ウガンダで約2年間PCインストラクターとして活躍され、3月に帰国された伊計優香さん、ガボンへ派遣される照屋志歩さんが市役所を訪れました。照屋さんは7月から2年間、看護師の経験を活かし、感染症・エイズ対策の活動に従事します。